

# 10代のための本棚

てい〜んず情報誌Vol.44

墨田区立図書館  
2023年7月発行



<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>

## 中学生・高校生のための POPコンテスト2023

図書館でいう「POP（ポップ）」とは、オススメしたい本を紹介するためのカードのことです。墨田区立図書館では、毎年「POPコンテスト」を開催しています。大好きな本をみんなに紹介してみませんか。

対象 墨田区内在住・在学の中学生・高校生  
応募締切 令和5年9月11日(月)必着



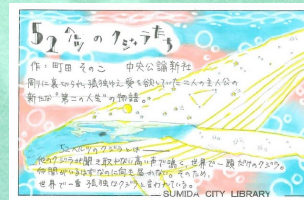
各部門  
一人一点ずつ  
応募可

### よみもの部門

小説やノンフィクションなど自分の好きな本を、同年代（中学生・高校生）のみんなに紹介しよう！

### 絵本部門

小さいころに読んで心に残っている絵本を、これから本を読み始める子どもたち（5才から小学校低学年ぐらい）に紹介しよう！



応募の決まり、注意事項等は、ポスター・ちらし又は墨田区立図書館ホームページでご確認ください。

## 読書感想文を書こう！！ 第69回青少年読書感想文全国コンクール

### 今年の課題図書

#### 《中学校の部》

- ◆スクラッチ 歌代朔／作 あかね書房
  - ◆アップステージ シャイなわたしが舞台上に立つまで  
ダイアナ・ハーモン・アシャー／作 武富博子／訳 評論社
  - ◆人がつくった川・荒川 水害からいのちを守り、暮らしを豊かにする 長谷川敦／著 旬報社
- #### 《高等学校の部》
- ◆ラブカは静かに弓を持つ 安壇美緒／著 集英社
  - ◆タガヤセ！日本 「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます  
白石優生／著 河出書房新社
  - ◆昆虫の惑星 虫たちは今日も地球を回す  
アンヌ・スヴェルトルップ＝ティエグソン／著 小林玲子／訳

### 昨年の受賞者が読んだ本

#### 内閣総理大臣賞

《中学校の部》江戸のジャーナリスト葛飾北斎 千野境子／著 国士社

《高等学校の部》クジラの骨と僕らの未来 中村玄／著 理論社

#### 文部科学大臣賞

《中学校の部》夜と霧 新版 ヴィクトール・E.フランクフル／著 池田香代子／訳 みすず書房

《高等学校の部》同志少女よ、敵を撃て 逢坂冬馬／著 早川書房

## ひきふね図書館おもてなし課の メンバー募集

おもてなし課は、図書館をより楽しい場所にするために活動する、中高生のグループです。

### これまでの活動

図書館の裏側探検ツアー、ブックビンゴ大会など

対象：区内在住在学の中学生・高校生

活動日：奇数月の第3日曜日午前10時から

（変わる場合があります。）

活動場所：ひきふね図書館

申込み：カウンター、電話、メールで  
ひきふね図書館へ

ひきふね図書館

所在地 墨田区京島1-36-5

電話 03(5655)2350

メール HIKIFUNE@city.sumida.lg.jp





### 最新ネットのキーワード図鑑—情報モラルを身につけよう！—

島袋コウ／監修 旬報社 2023.2

インターネット・SNSは便利で楽しいツールです。でも、悪意のある使い方もできます。みなさんが被害に遭わない・被害に遭わせないために、気を付けること・気を配ることを身につけよう。



### 鬼と日本人の歴史

小山聡子／著 筑摩書房 2023.3

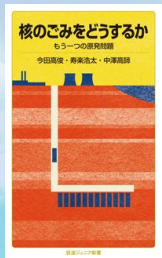
みなさんにとって鬼はどのような存在ですか？絵本やマンガなど、多くの物語に登場し、怖くても馴染みの深い存在ではないかと思います。では昔の日本人にとって鬼とはどのような存在だったのでしょうか。その歴史をひもといて、日本人の精神世界をのぞいてみましょう。



### 文系のためのめっちゃやさしい筋肉—東京大学の先生伝授—

佐々木一茂／監修 ニュートンプレス 2023.1

筋肉が体を動かすだけでなく、臓器や組織と情報交換して全体の健康状態を調整する役割を担っていることが研究でわかってきました。理論から筋トレ実践まで、筋肉のすべてに答えてくれます！



### 核のごみをどうするか—もう一つの問題—

今田高俊／著 寿楽浩太／著 中澤高師／著 岩波書店 2023.4

原子力発電の際にでる、高レベル放射性廃棄物。放射能の影響が弱まるまでに、長い年月を要する問題について考えてみませんか？将来にかかわる問題なので、若い人に読んでもらいたいです。



### 空とラッパと小倉トースト

オザワ部長／著 Gakken 2023.3

天才少年と呼ばれるトランペット奏者・響に出会ったことをきっかけに、名門校の吹奏楽部に入部した美森。まったくの未経験で入部した美森ですが、練習していくにつれ才能が開花して…。様々な壁を乗り越え、仲間たちと全国大会を目指す青春物語。



### 真夜中のウラノメトリア

神田澤／著 KADOKAWA 2023.3

両親と職を失った少年。父親が遺したという宝を探しに、遠く離れた『天使の星』を目指して旅にでる——。1編1ページ完結。けれども全編を通して読むと、ある少年の壮大な旅の物語となる。Twitter上で140文字の小説を描き続ける著者・神田澤の4番目の作品。



### 待つ

太宰治／著 今井キラ／絵 立東舎 2023.2

「ああ、私は一体、何を待っているのでしょうか」こっそりと、誰にも知られないように駅で待つ。戦争への不安、自分の未来も不安…このままでいいのかと精神的に不安定な年頃の「私」。小説としても、画集としても楽しめる人気シリーズ・乙女の本棚の第30弾。



### つる子さんからの奨学金

まはら三桃／著 偕成社 2023.3

ひいおばあちゃんから「高校の学費を援助する」という提案を、いとこの樹と一緒に受けた中学3年生のわかば。条件は今の実力より、ひとつ上の高校をめざすこと。部活との両立、受験のための塾への変更、両親からのプレッシャーと悩みながら受験に立ち向かう物語。

一番栄養価が高まる時期に収穫される…それが「旬」の食材です。暑い夏には体を冷やしたり、食欲増進したりする効果がある野菜・果物が旬を迎えます。おいしさも栄養価も格別な「旬」のもの、これはもう摂らないともったいないですね。

**暑いこの夏、旬のものを食べて乗り切ろう！**

旬ってなに？—季節のたべもの一夏  
本多京子／監修 汐文社

季節をたべる夏の保存食・行事食  
濱田美里／著 藤田美菜子／絵 アリス館

夏カレー 冬カレー  
脇雅世／著 渡辺玲／著 大泉書店

宮沢賢治  
童話の世界

宮沢賢治(1896-1933)は、今年で没後90年を迎えます。岩手県に生まれた宮澤賢治は、岩手を舞台として数々の幻想的な童話を生み出しました。そこで今回は宮沢賢治の名作が一冊で読める童話集や詩集を紹介します。教科書などで一度読んだことがある作品も、改めて読むとまた違った感動が得られるかもしれません。ぜひ、手にとってみてください。

・宮沢賢治詩集  
宮沢賢治／著 角川春樹事務所

・宮沢賢治童話集  
宮沢賢治／著 世界文化ブックス

・10分間で読める宮沢賢治短編集  
宮沢賢治／著 ゴマブックス